

■マイルグランプリ(SⅡ)(過去10回の分析)

※第17回(平成22年度)は東日本大震災の影響により中止
※第18回(平成23年)から短距離体系の改善により秋季に移行
※記録は10月10日時点のもの

■マイル以下の重賞勝ちの実績が欲しい

- ◇優勝馬10頭中、5頭が1600m以下の南関東重賞勝ち
 - ※例外5頭中3頭は、南関東の1600m以下重賞は初出走だった。
 - 第12回 アジュディミツオー(ダートGI3勝の実績馬)
 - 第14回 デスモゾーム(マイル以下の条件戦を6連勝中)
 - 第18回 ボク(他地区重賞では1600mの北海道優駿ダービーでの優勝実績あり)
- ◇2、3着馬20頭中、14頭が1600m以下の重賞勝ち

■2、3着馬は、重賞2勝以上の実績馬が中心

- ※2、3着馬20頭中、11頭が重賞2勝以上を挙げている実績馬。
- ※例外の9頭中5頭は、近走の重賞で好成績を挙げている。
- 第12回2着 コアレスタイム(前々走・船橋記念で重賞初勝利)
- 第15回3着 クレイアートビュン(重賞1勝。3走前は報知グランプリC2着)
- 第18回3着 ツルオカオウジ(前走・大井記念2着)
- 第21回2着 グランディオソ(17戦12勝、2着3回、3着2回で着外なしの好成績)
3着 ゴーディ(重賞1勝。前2走とも2着)

■前走成績にも注目

- ※3着内馬30頭中、22頭が前走で3着以上もしくはダートグレード競走に出走。
- ※例外8頭中6頭は、いずれも二桁人気馬。
- 第12回2着 コアレスタイム(13番人気、前走・東京シティ盃5着)
- 第16回2着 ヴァイタルシーズ(13番人気、前走・東京スプリング盃11着)
- 第16回3着 ディアヤマト(12番人気、前走・'10ウインタースプリント7着)
- 第19回2着 ラインジュエル(10番人気、前走・'12ムーンライトカップ5着)
- 第20回2着 ピエールタイガー(10番人気、前走・東京記念11着)
- 第22回3着 インフォーマー(12番人気、前走・相模原市緑区特別4着)
- ※他2頭は第18回優勝ボク(8番人気、前走・'11ムーンライトカップ4着)と第19回3着フジノウェーブ(3番人気、前走・アフター5スター賞7着)

■3着内馬30頭中、前2走とも掲示板外(6着以下)は4頭

■7勝以上の実績が理想

- ※3着内馬30頭中、21頭が7勝以上。
- ※優勝馬に限ると、10頭中10頭すべてが該当。

■TCK所属馬が優勢

- ◇TCK所属馬 7勝、2着7回、3着5回。3着内率63.3%
- ◇船橋所属馬 2勝、2着2回、3着2回。3着内率20.0%
- ◇川崎所属馬 0勝、2着1回、3着2回。3着内率10.0%
- ◇浦和所属馬 1勝、2着0回、3着1回。3着内率 6.7%
- ※1勝、3着1回の浦和所属馬は、共にクレイアートビュンが記録。

■5歳馬が4勝でリード

- ◇3歳馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%
- ◇4歳馬 2勝、2着0回、3着3回。3着内率16.7%
- ◇5歳馬 4勝、2着4回、3着2回。3着内率33.3%
- ◇6歳馬 3勝、2着2回、3着2回。3着内率23.3%
- ◇7歳馬 1勝、2着0回、3着0回。3着内率3.3%
- ◇8歳馬 0勝、2着3回、3着0回。3着内率10.0%
- ◇9歳馬 0勝、2着1回、3着1回。3着内率 6.7%
- ◇10歳馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%

■牝馬は2着2回

※牝馬は9頭が出走して2着2回(第13回アウスレーゼ、第19回ラインジュエルが2着)。

■外国産馬は不振

※外国産馬は10頭が出走して、3着以内なし。

■1番人気馬は4勝

- ◇1番人気馬 4勝、2着2回、3着0回。3着内率60.0%
 - ◇2番人気馬 1勝、2着1回、3着3回。3着内率50.0%
 - ◇3番人気馬 2勝、2着0回、3着2回。3着内率40.0%
- ※連対馬20頭中、13頭が4番人気以内の馬。
※二桁人気馬は2着4回、3着2回。

■真島大輔騎手が2勝

※真島大輔騎手は第14回、第19回で優勝。

■月岡健二調教師、川島正行調教師が2勝

※川島正行調教師は第12回、第20回で優勝。
※月岡健二調教師は第18回、第21回で優勝。

■⑦番、⑪番が2勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0
2着	2	0	0	1	0	1	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0
3着	3	1	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0

■マイルグランプリ(SⅡ) (過去全21回の分析)

※第8、9回は1590mで実施

※第17回(平成22年度)は東日本大震災の影響により中止

※第18回(平成23年)から短距離体系の改善により秋季に移行

※記録は10月10日時点のもの

■実績馬が強い傾向

※創設から第12回まで全て重賞2勝以上の馬が優勝、第6～12回までダートグレード競走連対実績馬が優勝を続けていた。

※第13回以降も9回中8回が重賞勝ち馬の優勝。

※重賞未勝利馬の優勝は、第14回デスモゾーム(6連勝中)のみ。

■上位1番人気馬～3番人気馬で18勝

◇1番人気馬 8勝、2着2回、3着4回。3着内率66.7%

◇2番人気馬 6勝、2着2回、3着3回。3着内率52.4%

◇3番人気馬 4勝、2着3回、3着2回。3着内率42.9%

■3番人気以内から優勝馬が出る確率は85.7%

◇21回中18回で3番人気以内の馬が優勝。その確率85.7%

◇21回中6回が3番人気以内の馬によるワンツー。その確率28.6%

◇21回中3回が3番人気以内の馬によるワンツー・スリー。その確率14.3%

◇21回中6回が1、2番人気馬ともに3着以内。

※1、2番人気馬のワイド馬券の的中率は28.6%

■2勝馬は1頭のみ

※第2～3回 コンサートボーイ

■5歳馬が7勝でリード

◇4歳馬 6勝、勝率28.6%

◇5歳馬 7勝、勝率33.3%

◇6歳馬 5勝、勝率23.8%

◇7歳馬 3勝、勝率14.3%

■TCK所属馬が11勝でリード

◇TCK所属馬 11勝、勝率52.4%

◇船橋所属馬 8勝、勝率38.1%

◇川崎所属馬 1勝、勝率4.8%

◇浦和所属馬 1勝、勝率4.8%

■牝馬は未勝利

※2着3回。第11回プルザトリガー、第13回アウスレーゼ、第19回ラインジュエルの2着が最高成績。

■外国産馬も未勝利

※第9回タイキアーサーの4着が最高成績。

■石崎隆之騎手、張田京騎手が最多タイの4勝で並ぶ

■現役では3人の調教師が2勝で並ぶ

※出川克己調教師、岡林光浩調教師、月岡健二調教師が2勝。

※現役以外では栗田繁調教師、川島正行調教師、高橋三郎調教師が2勝。

■⑩番が3勝でリード

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	2	1	2	1	2	0
2着	2	2	1	2	0	2	3	3	2	1	1	0	0	1	1	0
3着	4	2	1	2	1	1	0	0	2	3	3	0	1	1	0	0

■⑥～⑧枠で計12勝

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	1	1	2	4	1	5	4	3
2着	3	2	1	5	5	2	1	2
3着	4	2	4	1	2	3	5	0